令和4年度 宮城県泉高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす				
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○	○	公民	○	○		数学	○	○		理科	○	○	○
	国語を的確に理解し、適切に表現して伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばし、豊かな心情をもって社会と関わることのできる総合的な言語能力を養う。				自国及び各国の歴史や風土に対する確かな認識を基盤として、様々な場において自己実現が達成できるような資質を養う。				先哲の教えを利用して複雑な現代の社会の仕組みを考察し、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。				数学的活動を通して数量や図形の意味を実感を持ってとらえたり、思考力、判断力、表現力を高め、様々な場面において論理的な思考力を育成する。				自然の現象やそのメカニズムについて考察し、科学的な見方や考え方を養い、様々な場面において論理的な思考や判断ができる資質を養う。			
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○		外国語	○	○	○	家庭	○	○		情報	○	○	
	健康と安全について意識の向上に努め、生涯にわたって運動に親しみ、安全に配慮することのできる人材を育成する。				芸術の幅広い活動を通して、芸術的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指す。				英語を正確に理解し、自分の考えを適切に表現できる力を養うと共に、国際的な視野をもって、持続可能な社会の実現に向けて貢献できる資質を養う。				家族と家庭の意義、家庭と社会の関わりについて考え、生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力を養う。				情報に関する科学的な見方や考え方を養い、情報化社会の中での的確な判断や効果的な活用ができる力を育てる。			
学年共通							わかる	もどめる	はたす	各学年指導目標										
指導内容	①身だしなみを整える		○	○	◎	1年	1 自ら考え行動する姿勢を身に付けさせ、心身ともに力強く自主的・主体的に適切な判断と行動ができるよう促す。2 自己の将来を考え、適切な進路選択ができる力を養うため、情報の提供と思考する機会を確保する。3 予習・復習・課題を利用した計画的な学習を心がけ、基本的学習習慣を確立させるとともに基礎力の定着を図る。4 節度ある態度を培う。													
	②挨拶の励行		◎	○			2年	1 中堅学年として果たすべき役割と責任を自覚した言動ができるようにする。2 自分を知り、自分の特性を理解した上で、進路目標を明確にできるようにする。3 1年次に確立した学習習慣をもとに、さらなる基礎学力の定着と進路目標実現のための応用力を育成する学習姿勢へと発展させる。4 多様性を認め合い、尊重できる心の力を育てる。												
	③学習習慣の確立		◎	○		3年		1 何事に対しても良く考え、主体的な行動を起こすことができるよう指導する。2 進路達成に向け積極的に挑戦する姿勢を育成する。3 自学・自習の学習態度を定着させ、確実な学力向上を目指す。4 他者の特性を理解し、共生しようとする態度を醸成するとともに、挨拶などの社会人としての基本的な生活態度を確立させる。												
	④自己表現力の向上		○	◎				指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	わかる	もどめる	はたす	
	⑤校内美化の励行		◎	◎		1年	夢ナビライブ参加	自分の進路希望先から直接話を聞くことで、具体的に進路と関連付けることで、明確な進路選択の一助とする。	総合的な探究の時間	9～10月	4	○	◎							
	⑥保護者や地域社会との連携		◎				探究活動(地域を考える)	新聞等を読み、身近な地域が抱える諸課題を理解し、課題解決に向けた提案を行う。	総合的な探究の時間	4～11月	12	◎	○	○						
						探究活動(ポスターセッション)	身近な地域の魅力を再確認し、国内外からの観光客誘致について、具体的な方法を考える。	総合的な探究の時間	12～2月	6	○	○	◎							
						外部講師による進路講話	大学の入試制度やそれに関わる状況を知り、1年生において何をすべきかを学ぶ。	特別活動	9月	2	○	◎								
						社会人講話	社会人の方々の話を聞くことで、職業についてはもちろん、様々なものの見方や考え方についての理解を深める。	特別活動	11月	3	○	◎								
					2年	夢ナビライブ参加	自分の進路希望先から直接話を聞くことで、具体的に進路と関連付けることで、明確な進路選択の一助とする。	総合的な探究の時間	10月	4	○	◎								
						外部講師による進路講話(進路に関する内容)	高校生活の後半に入るこの時期に、自分のより高い進路実現に向けて、何をすべきかについて学ぶ。	特別活動	9月	2	○	◎								
						研修旅行関係(事前準備)	生徒が主体的に計画を立てながら、見学先への見識を深め、自ら学ぶ意欲を高める。	特別活動	5～11月	4	○	○	◎							
						研修旅行	我が国の伝統文化や歴史遺産などを実際に見学することで、自らの見聞を広げ、進路についてより具体的に考えるための機会とする。	特別活動	12月	6	○	○	◎							
						研修旅行関係(班別自主研修のまとめ・発表)	班別自主研修(研修旅行)の計画から実際の研修までをまとめ、後輩の前で発表し、まとめ方や発表の仕方を身に付ける。	特別活動	12～1月	3	○	○	◎							
					3年	探究活動(SDGsを考える)	新聞等を読み、SDGsの考え方に触れながら、自ら課題をたてて、その課題解決に向けた探究活動を行う。	総合的な探究の時間	4～3月	11	◎	○	○							
						探究活動(SDGsを考える)	新聞等を読み、SDGsの考え方に触れながら、自ら課題をたてて、その課題解決に向けた探究活動を行う。	総合的な探究の時間	4～2月	9	◎	○	○							
						外部講師による進路講話(進路に関する内容)	進路達成に向けて、3年生としてすべきことを再確認する。	特別活動	6月	2	○	◎								
						書籍研究	自らのテーマに沿った新書を読み解き、その分野と内容について思考を深め、社会を学び、進路達成に向けての意識を高める。	総合的な探究の時間	10～11月	5	○	○	◎							
						オープンキャンパス参加	自分の志望校について理解を深め、意識の高揚を図る。	総合的な探究の時間	7～8月	6	◎	○								
										合計時数	79									